

常任委員会 特別委員会



一般廃棄物最終処分場の現地視察

総務文教常任委員会

第4回（5月18日）

- ・台湾二水郷との交流について
- ・恵和福祉会特別養護老人ホームいちいの園等への支援について
- ・町有建物の貸付に伴う貸付料の減額措置について
- ・固定資産評価員の選任について
- ・町税条例等の一部改正について
- ・過疎地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・創生総合戦略会議設置条例の制定について
- ・一般廃棄物最終処分場の建設計画について

第5回（6月11日）

- ・町内視察結果について
- ・船橋・津別青少年交流協会設立10周年記念事業について
- ・津別中学校太陽光発電設備導入事業について
- ・恵和福祉会特別養護老人ホームいちいの園等への支援について

産業福祉常任委員会

第3回（5月18日）

- ・一般廃棄物最終処分場について
- ・旧相生ふるさと寮について
- ・統廃合後の学校跡地の活用について
- ・起業等振興促進条例の一部改正について
- ・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業（津別町プレミアム付き商品券）の実施について
- ・国民健康保険条例の一部改正について
- ・国民健康保険税条例の一部改正について
- ・介護保険条例の一部改正について
- ・介護予防いきいきポイント事業の取り組みについて
- ・乳幼児医療の所得制限の撤廃と現物支給について

第4回（6月12日）

- ・町内視察結果について
- ・起業等振興促進条例の一部改正について
- ・ふなっしー来町に伴う経費について
- ・津別町地域特産品販路拡大支援補助金交付要綱の制定について



木材工芸館の現地視察

議会運営委員会

第6回（5月22日）

- ・津別町森林バイオマス熱電利用構想（熱供給施設整備）について
- ・津別中学校太陽光発電設備導入事業について
- ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部改正について
- ・乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について
- ・臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金支給事業について
- ・認知症対応型共同生活介護事業所の家賃等軽減事業について
- ・短期入所事業について
- ・介護予防・日常生活支援総合事業の生活支援体制整備事業について

議会広報特別委員会

第12回（6月24日）

- ・議会報の編集内容について
- ・第13回（7月16日）
- ・議会報155号の編集について

北海道町村議会議長会 からの表彰

永年町村議会議員として在職され、地方自治の振興発展に寄与された功績により、篠原真稚子副議長が北海道町村議会議長会から表彰され、6月25日定例会冒頭に議長から表彰状が伝達されました。

総務文教常任委員会

5月18日と6月11日に「最終処分場の建設計画について」協議しました。

担当課

現在の最終処分場は、12年4月に供用開始され、当初計画では15年で埋め立て完了の予定が、現在16年目に入り延命できている。

これは、町民の方のこみ減量と分別に対する理解と協力によるものだが、32年には埋め立て完了となる。

建設計画については、33年の供用開始を目処に考えている。

委員

広域連携など、近隣市町との協力体制については、相手の事情も考える、難しいかと思う。

長期化の計画をきちんと立てて進めていかないと、時間のかかる問題だと思ふが。

担当課

近隣市町ともゴミの広域処理について継続協議中だが、住民の理解というのなかなか難しいと考えている。そういう面では、法律上も最終的には自分の町で処理しなくてはいけないということがあるので、新設の可能性が高いかと思う。

計画を立てる上で、15年間でどれくらい処理が可能かを調査しながら、場所の適地を探していくことになる。

委員

分別を徹底することによって、当初計画より延命しているということだが、津別の中で適地を探すしか方法がないとなるなら、早めに適地を探していくことと、再度の分別徹底の取り組みが必要ではないか。

担当課

広域協議や用地選定など、あせつて行うことのリスクも高いことから、途中、処理場の10%の嵩上げを計画し、延命を図りながら、用地選定は慎重に進めていきたい。また、町民の更なる理解と協力をお願いしたい。

産業福祉常任委員会

6月12日の委員会では、「21世紀の森周辺の町内視察と利活用について」協議しました。

担当課

今回の検討の柱として、時代にそぐわない大規模開発は避け、管理費の軽減や管理の集約化、コンパクト化と、21世紀の森のコンセプトであるこどもの遊びや森林学習というところを重要視したい。その中で、津別の魅力発信など意見を伺っていきたい。



委員

津別に行ってみようという

他の町にないものを作る必要があるのではないかと。また、学習展示館の冬の利用方法は考えていないのか。

担当課

学習展示館は、除雪体制が難しいため、遊具の持ち出しを検討している。

構想としては、今あるものを有効に、有機的に結びつけて、相乗効果をもたそうと考えている。

21世紀の森周辺での滞在時間を長く保てるように工夫をしていきたい。冒険の森にあるような遊具などを活用して、自然の中でという形で進めたいと考えている。

委員

ただ探索して歩くのはどこでも整備されてきている。この中に、芸術性をもたせるものを何か取り入れたほうがよいと思う。

担当課

津別は木の町なので、木工芸や木材を利用したアートや遊具などを検討していきたい。具体的な計画段階で、意見を十分取り込んでいきたいと思う。

町長行政報告

報告された事項

第4回臨時会 (5月26日)

- 特旨叙位 ■まちなか再生事業 ■友好都市台湾二水郷との交流 ■青葉幼稚園の閉園及びへき地3保育所の閉所 ■認定こども園の開園 ■地域相互支援型自治体推進モデル研究に対する協力
- 津別ライオンズクラブに対する津別21世紀の森周辺利活用検討報告書の説明 ■津別建設業協会からの入札閲覧方式の変更要望 ■船橋市非公認キャラクターふなっしーの来町決定 ※ほか3事項

第5回定例会 (6月25日)

- 津別町森林バイオマス熱電利用構想に係る丸玉産業株式会社と連携した熱供給事業 ■降雹による農業被害 ■ラグビーワールドカップ2019札幌開催に向けた協力要請 ■北海道日本ハムファイターズ市町村応援大使の取り組み ■殉公者追悼式 ■大地と海をつなぐ植樹 ※ほか3事項

議会日誌

4月

24日 第12回議会広報特別委員会

5月

18日 第4回総務文教常任委員会

第3回産業福祉常任委員会

19日 オホーツク町村議会議長会定期総会
(佐呂間町)

22日 第6回議会運営委員会

30日 オホーツク圏活性化期成会定期総会
(網走市)

26日 第4回津別町議会臨時会

6月

8～9日 オホーツク圏活性化期成会重点項目
の予算確保に向けた中央要請
(東京都)

11日 第5回総務文教常任委員会

12日 第4回産業福祉常任委員会

17～18日 北海道町村議会議長会定期総会
(札幌市)

19日 第7回議会運営委員会

22日 オホーツク圏活性化期成会農林水産
専門委員会(北見市)

25～26日 第5回津別町議会定例会

7月

7～8日 北海道町村議会議員研修会(札幌市)

16日 第13回議会広報特別委員会

～議会の録画を配信しています～

インターネットを利用した定例会の録画配信を行っています。町のホームページにアクセスしてご覧ください。

<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>から「議会インターネット中継」をクリック。

意見書

関係行政庁へ
提出しました

■地方財政の充実・強化を求める意見書

■平成27年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

■義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など平成28年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

■マイナンバー制度の徹底審議と実施の延期を求める意見書

■安全保障法制の慎重審議を求める意見書

町村議会議員研修会に参加

7月7日に札幌市で開催されました。研修では、中央大学名誉教授 今村都南雄 氏から「地方議会を取り巻く最近の動向」と題し、テレビ朝日コメンテーター 川村晃司 氏からは「これからの政局・政治動向」と題し、それぞれ講演がありました。



は ぐ る ま

テレビ番組を見ていたら、今、国会で審議されている安保関連法案について憲法学者のアンケート調査を実施し、その結果を公表していた。

その報道によれば安保関連法案について、約150人の憲法学者の中で合憲と回答したのはたった3人しかいなかった。

それ以外の方々は、憲法違反または憲法違反の恐れがあると回答していた。

つまり、圧倒的多数の憲法学者の方々は、安保関連法案を憲法違反と判断している。

また、過日の衆院憲法調査会に招かれた憲法学者3人全員も安保関連法案を憲法違反と判断した。

戦争法案の骨格をなす集団的自衛権行使は、憲法学者ならずとも、憲法違反と感じているのではないだろうか。

自衛隊員と国民の生命に関わる重大な問題である。国民の疑問や不安を真摯に受け止め、国会での審議を慎重に丁寧に進めてほしいと心から願うものである。

(村田)